

## フレーズ習得を目指した「絵単語」による 初級中国語学習の効果と課題

康 鳳麗<sup>1)</sup>, 森脇 健夫<sup>2)</sup>, 坂本 勝信<sup>3)</sup>

1) 鈴鹿医療科学大学

2) 三重大学

3) 常葉大学

## 研究報告

フレーズ習得を目指した「絵単語」による  
初級中国語学習の効果と課題康 鳳麗<sup>1)</sup>, 森脇 健夫<sup>2)</sup>, 坂本 勝信<sup>3)</sup>

1) 鈴鹿医療科学大学

2) 三重大学

3) 常葉大学

キーワード： 絵単語, コロケーション, フレーズ, 第二外国語学習としての中国語学習, 多肢選択テスト

## 要 旨

従来の第二外国語学習としての中国語学習は、他の言語学習と同様、「文法積み上げ方式」が主流であった。「文法積み上げ方式」とは「易から難へと文型を積み上げながら新しい項目を導入・練習していく方式」である。しかしながら、この方式では場面のイメージのないままの機械的な適用に終わることが多く、基本文法の定着度も悪く、そして、何よりも文法嫌いの学習者を多く出してしまうように経験から感じている。

そこで康は、第二外国語として中国語を履修する大学生（2015年度後期 57 名、2016 年度後期 69 名）を対象に、学習内容に関連したフレーズを絵で表した「絵単語」を授業の冒頭に提示し、学習するという授業実践を行った。そして、その効果を明らかにするため、16 回目の授業で多肢選択テスト及び、アンケート調査を行った。

結果として、「絵単語」を使った実践は、従来の「文法積み上げ方式」実践よりも単語の定着度が高く、かつフレーズの理解に「絵単語」が重要な役割を果たしていることが明らかになった。

なお、本稿では、実践の構想・実施・アンケート調査を康が行い、教材作成、分析を連名者も加えて行った。

## 1. はじめに

本学は、国家資格の取得に力を入れる医療系大学であり、従来の学生の授業アンケートによれば、語学が不得意、文法が苦手、予習復習に十分な時間がとれないという学生が多い。中国語の授業は、1年間に前期（1単位）、後期（1単位）の2期に分けた選択科目である。また、学科によっては、4科目、ないし、6科目から1～2単位取得が卒業要件となる。

選択科目であるため、学生の受講動機はある程度期待できるが、能力の格差は大きい。また、必ずしも単位を取得しなくてもよいと、躓きが挫折につながりやすい。

中国語初級の指導において、教科書の改善は進んでいるものの、「文法積み上げ方式」への偏重は変わっていないように思われる。もちろん、基礎学修として文法の習得は必須だが、初級指導における「文法積み上げ方式」の問題点があるのも事実である。康の従来の実践の中でも、文法に関する内容の多い授業は、到達度や応用力を測る試験を行ってきたが、定着度が低く、応用も利きにくかった。そして何よりも学習者の学習意欲を削いでしまうように感じてきた。以上のような難点を克服しつつ、学習を進めるにはどう指導すればよいか、さまざまな試行錯誤を重ねてきた。

実践経験の中で、学生が中国語学習で生き生きとするのは、中国語を使う場面や状況が具体的にイメージできることであることに気が付いた。しかし、そうした現実場面を教室につくりだすことは難しい。そこで、「絵単語」を手掛かりにして、「絵単語」からフレーズへの習得を目指す指導法を考案し、教材化（教科書作り）を始めた。

そして、作成した教科書を、2015年度より授業で使うことにした。

本稿では、2015年度、2016年度において、フレーズ習得の手がかりである「絵単語」の初級指導例を紹介し、その効果について、多肢選択テストおよび、アンケート調査を実施し、考察を行う。

## 2. 「絵単語」教材の開発と実践

### 2-1 「絵単語」教材の開発

「絵単語」とは、当該課の内容に関連したことを絵で表して、提示したものである。図1で示したように「人物の行為などを周囲の状況や行為の対象とともに1枚の絵として描いたもの」である。文法としてではなく、単語のように、絵を生かした「語彙」として、シンプルに表すという意味合いから、「絵単語」と呼ぶことにした。

作成した教科書の1課の構成、及び、その使い方は下記の通りである。

1つの課は6頁から構成される。

1頁目：「タイトル・目標・単語」

2頁目：文の骨組みを代入練習によって確認する「フレーズ」

3頁目：1頁目と2頁目の内容を組合せ、さらに、いくつかの新しい表現を加えて、場面・状況にあった「会話文」

4頁目と5頁目：5つのパターンの「練習問題」①ピンインで書かれた文を漢字に直し、中国語に訳す。②中国語の文を日本語に訳す。③日本語の文を中国語に訳す。

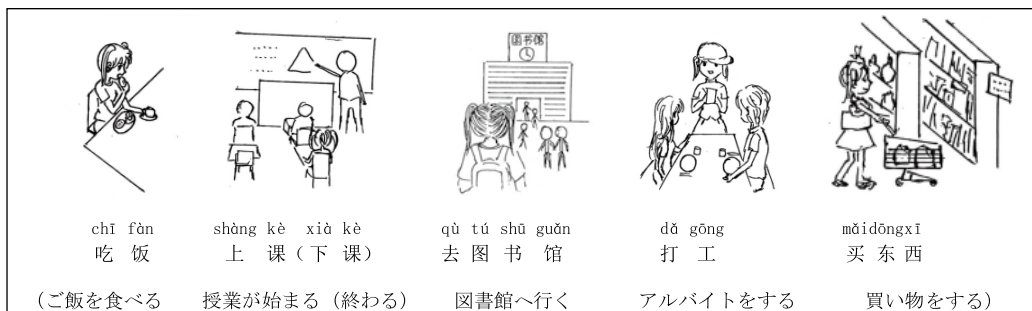


図1 「絵単語」の例（試作教材の第3課より）

す。④メインフレーズのシャドーイング。⑤タスクによるペア会話練習)。

6 頁目：学習の合間に楽しみながら読んでもらえるコーナー「ほっと一息中国語」

上記 6 頁のほか、別冊として『定着確認問題』があり、作文を含めて、本冊と異なる三つのパターンの練習問題(①ピンインで書かれた語彙を漢字に直し、中国語に訳す。②単語を並び替えて意味の通じる文にする。③作文)を用意した。

## 2-2 実践例

「絵単語」を使った実践を、作成した教科書の第 3 課を例にし、授業で使用したパワーポイント(図 2～図 6)で示しながら紹介する。

第 3 課のタイトルは「予定について話す」である。当該課の学習目標は、「日付と時刻を表す言葉を覚える」と「予定について話せるようになる」ことである。

まず、1 時間目の授業は語彙習得の時間として使う。この時間では、導入として当該課の 1 頁目の内容(語彙)習得を目指す。

日付、曜日、時刻はすでに発音単元で触れていたため、「繰り返し・復習」を兼ねて読み、簡単な会話等をしてスキルの活性化を図る(図 2)。

そのあと、当該課の 1 頁目の「時の表現」(「午前」「午後」等)を付け加える。この過程ではすぐに使える短いフレーズを作りながら進めていくため、ストレスなく新しい言葉を覚えていく(図 3 左)。

そして、「吃饭」(ご飯を食べる)、「上课」(授業が始まる、授業を受ける)、「去图书馆」(図書館へ行く)、「打工」(アルバイトをする)、「买东西」(買い物をする)など、11 個の「絵単語」を含めた語彙を習得させる。赤色で囲んだ箇所を各自で教科書にメモするよう指示し、囲んだ箇所は動詞であることを説明する。発音・聞く・話す・書くの練習をする。代入練習を含めて繰り返して、「絵単語」、動詞フレーズのイメージを視覚認識・パターン認識を通してインプットした(図 3 右)。

そのあと、簡単な文を作って慣らし練習をした(図 4)。

次に、翌週の 2 時間目の授業は「フレーズ」による構文確認と「会話文」による会話練習の時間として使う。

前時間の学習内容の書き取り練習等を通して復習したあと、当該課 2 頁目の「フレーズ」(図 5)、3 頁目の「会話文」(図 6)を学ぶ。

具体的な展開は、例えば、2 頁目の「フレーズ」では、前回習った語彙を使って、「主語+日付・時刻+動詞(+名詞)」を提示して、「我星期天上午打工」(私は日曜日午前アルバイトをする)と文を作り、ミニ会話、代入練習をした。

復習：教科書 p12-5, 6, 7, 8

|      |    |    |     |    |    |     |    |    |     |     |
|------|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|-----|
| línɡ | yī | èr | sān | sì | wǔ | liù | qī | bā | jiǔ | shí |
| 0    | 1  | 2  | 3   | 4  | 5  | 6   | 7  | 8  | 9   | 10  |

●数字の通し読み    十一／11    十二／12    … (月日、時間、年齢、ページ数など)

●数字の粒読み    



















 (学籍番号、電話番号、教室など)

●月日の言い方    Jīn tiān jǐ yuè jǐ hào    Jīn tiān yuè hào    xīng qī jǐ  
 今天 几月 几号?    今天 ~ 月 ~ 号。    星期几?  
 (今日は何月何日ですか?)

●曜日の言い方    xīng qī yī    xīng qī èr    xīng qī sān    xīng qī sì    xīng qī wǔ    xīng qī liù    xīng qī tiān  
 星期一    星期二    星期三    星期四    星期五    星期六    星期天  
 (月)    (火)    (水)    (木)    (金)    (土)    (日)

●時刻の言い方    xiàn zài jǐ diǎn    xiàn zài liǎng diǎn shí fēn  
 现在 几点?    现在 两点 十分。  
 (いま何時ですか?)

図 2 第 3 課 ppt (発音単元の復習)

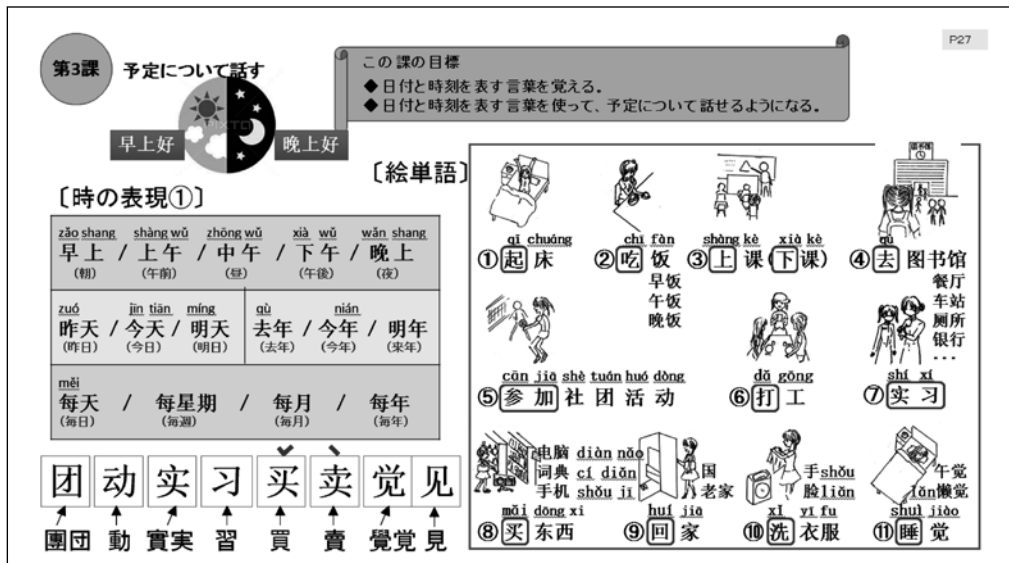


図3 第3課1頁目

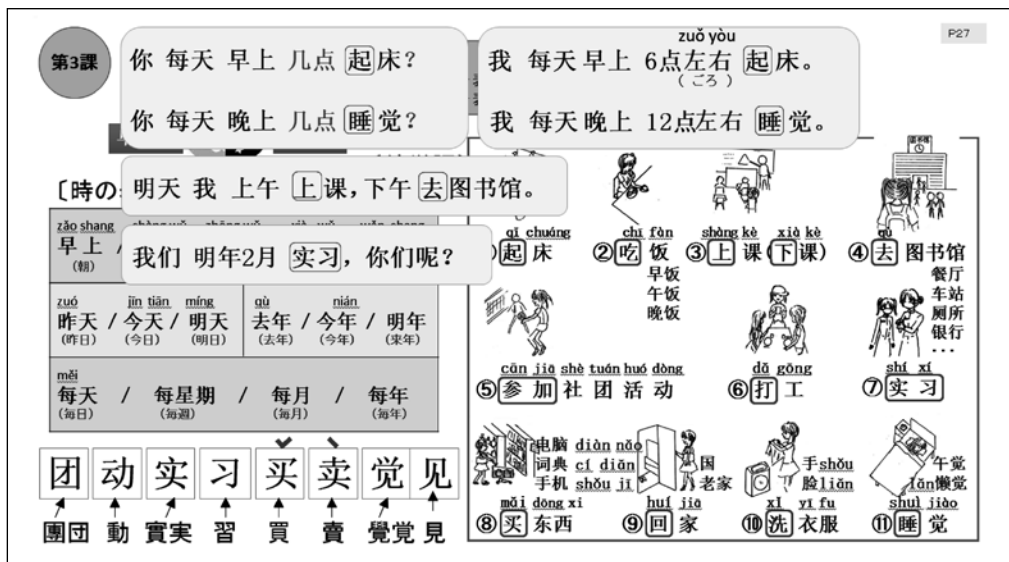


図4 第3課1頁目

そして、3頁目の「会話文」では、予定について“明天我上午上课，下午去图书馆。你呢？”（明日私は午前中授業を受けて、午後は図書館へ行く。あなたは？）を含めたストーリーのある会話文を読む練習をした。その後、それぞれの予定について、自由会話等の教室活動をした。

最後に、宿題として、「ピンインを漢字に直して日本語に訳す」「日中対訳」「並び替え」「作文」などといった練習問題を以て定着を図った。

練習問題では教師が学生一人ひとりの作文を添削するが、作文以外の問題は、黒板に書かせて、学生自ら添削することにした。ここで現れた問題点を共有するようにした。

「絵単語」では、機械的な暗記ではなく、「月・日・曜日・時刻，すること」のように、学生自らの一日を話すように馴らし練習も同時にする。楽しそうにペア練習をする学生の姿から、「自分のことについて中国語で言えるようになった」「友達と会話できた」という喜びが伝わってき

**フレーズ** P28

① 日付・曜日の言い方 ～月～号(話し言葉) ～月～日(書き言葉)

A: 今天(是) 几月 几号 星期几?  
 B: 今天(是) ～月 ～号 星期～。  
 B1: 今天 不是 ～月 ～号 星期～。

shén me shí hou  
 什么时候?  
 (いつ)

A: 你们 什么时候 实习?  
 B: 我们 明年2月 实习。

② 時刻の言い方 ～点～分

A: 现在 几点?  
 B: 现在 ～点 ～分。

两点三十分 / 半  bàn  
 十二点十五分 / 一刻  kè  
 七点五十五分 / 差五分八点  (8時5分前) chà wǔ fēn bā diǎn

③ 主語 + a 日付・時刻 + b 動詞(+名詞)

我 星期六 上午 打工

A: 你 星期天 打工 吗?  
 B: 我 星期天 不打工 / (我) 星期六 打工。  
 C: 明天 你 有事 吗?  
 (有事がある、予定がある) yǒu shì  
 D: 明天 我 上午 上课, 下午 去图书馆。

E: 你 星期几 打工? / 几点 上课?  
 F: 我 星期天 打工。 / 9点半 上课。

a 今年 什么时候 明年2月  
 b 实习 shí xí

有 ↔ 没有 méi yǒu  
 (ない)

(疑問詞疑問文p16参照)

図5 第3課2頁目

**会話文** P29

伊藤: 明天你有事吗?  
 李玲: 明天我上午上课, 下午去图书馆。你呢?  
 伊藤: 我也一样。明天是我的生日。  
 李玲: 是吗? 祝你生日快乐!  
 伊藤: 谢谢。  
 李玲: 明天我们一起吃晚饭吧。  
 伊藤: 好啊。你的生日是几月几号?  
 李玲: 我的生日是12月25号。  
 伊藤: 12月25号, 是圣诞节啊!  
 李玲: 是啊。

我也 是 大学生。 (第1課)  
 我也 在 书店。 (第2課)  
 一样。

样 樣 樣  
 乐 樂 樂

蛋糕 dàn gāo  
 圣诞快乐 shèng dàn kuài lè  
 圣诞夜 yè 圣诞树 shù 圣诞老人 shèng dàn lǎo rén  
 圣诞节 shèng dàn jié  
 聖誕節

図6 第3課3頁目

た。しかも、知らず知らずのうちに、何回も聞く、話す機会ができた。また、練習問題や作文の添削など、様々なアクティビティを授業中にちりばめることにより、集中力を高め、授業への参加を促すことができた。このような過程を踏まえての会話文朗読も、自由会話も、そして、練習問題も、スムーズに展開できた。

### 3. 従来の教科書の「挿絵」と「絵単語」の違い

教科書には、一般的に「挿絵」が存在する。だが、「絵単語」を使った授業のように、状況や場面とともに単語を習得させる意図があるかと言えば、それらしきものはほとんどない。筆者は中国語初級指導に使われている7種の教科書を調査してみた(詳細リストは文末註1参照)。

7種の教科書のうち6種の教科書の課の構成は、会話文(会話文の下に新出単語の日本語訳)→文型文法の

説明（教科書によって例文の数が異なる）→練習問題、であった。

文型文法については、丁寧に解説されているが、語彙については、会話文の下に日本語訳をつけるか、文型文法説明欄に代入例として提示するかである。また、会話文でも、文型文法説明の代入例にも触れないまま、練習問題で初めて語彙の提示となるものもあった。

調査した教科書の中に1つだけ（註1, 1）イラスト入りの「単語」が課の1頁目にあった。課の構成は、イラスト入りの単語→会話文（会話文の下に新出単語の日本語訳）→文型の説明→練習問題、であった。だが、そのイラスト入りの単語は、後の内容と関連が薄く、会話文にも文法解説にも、さらに、練習問題にも登場することが少ない。

総じていえば、挿絵は次のように使われる。①会話が行われる場所や空間を表す。②練習問題のヒントになる。つまり、「絵単語」が単元の冒頭に示され、パターン認識の核として位置付けられるのに対して、従来の教科書「挿絵」は本文の理解や練習問題を解くための補助の役割を果たすように位置づけられている。

#### 4. 「絵単語」からフレーズへの指導効果に関する調査

上述した「絵単語」からフレーズへの授業実践を2015年から開始し、本学において中国語を第二外国語として履修する1年生を対象に、90分講義を前期15回、後期15回、行った。「絵単語」習得からフレーズ習得への試みは、学生からどのように評価されているか、学習効果があったかどうかを知るために、2015年と2016年の2回にわたり、アンケート調査を実施した。対象は4月から1年間受講した学生である。実施時期は2回のいずれも後期第16回目授業であった。そのうち、2015年度後期は4クラス57名、2016年度後期4クラス69名である。アンケート内容は、①12個の「絵単語」の多肢選択テスト、②学習項目（課の構成）に対する満足度調査、③「絵単語」による学習に関する調査、である。

多肢選択テストは、1年間を通して学んだ「絵単語」から、絵を取り除いた単語の一部を空欄にした。12個の

教科書を見ないで①～⑫の日本語を正しく表すように下  
の中から適当なものを選んで、\_\_\_\_に書いてください。

- |              |         |
|--------------|---------|
| ① 授業が終わる     | _____課  |
| ② バイトをする     | _____工  |
| ③ 診察を受ける     | 看_____  |
| ④ 家に帰る       | _____家  |
| ⑤ 頭が痛い       | _____疼  |
| ⑥ 買い物をする     | 买_____  |
| ⑦ 熱が出る       | _____烧  |
| ⑧ 荷物を持つ      | 拿_____  |
| ⑨ 咳をする       | 咳_____  |
| ⑩ 宿題をする      | _____作业 |
| ⑪ 下痢をする      | _____肚子 |
| ⑫ インターネットをする | _____网  |

拉 东 西 头 上 下 打 回 做 行 李 嗽 病 发

図7 多肢選択テスト

選択肢を用意し、提示した日本語の意味に合うように1つ選び、その空欄に書くものである。なお、テスト用「絵単語」は語と語の組合せを扱う課から、日本語の漢字から類推できないものを12個（前期習ったものより5個、後期習ったものより7個）選んだ（図7）。学習項目に対する満足度調査では、1つの課に含まれたすべての項目について、「各課の構成の中でこれが役に立った」（アンケート紙は文末資料参照）と思うかどうかと尋ねた。また、「絵単語」による学習について、「絵単語で提示されると、記憶に残りやすい」かどうか、一年間中国語学習を通して、「日本語と中国語の語順の違いがとても気になった」かどうかについて、聞いた（同文末資料参照）。

##### 4-1 多肢選択テストの結果

図8-1は、2015年度の多肢選択テストの結果を図示したものである。12個の問題中で“打工”（アルバイトをする）は全員正解であった。最も正解率の低いものでも、53%（30名）と、半数以上であった。また、57名中、21

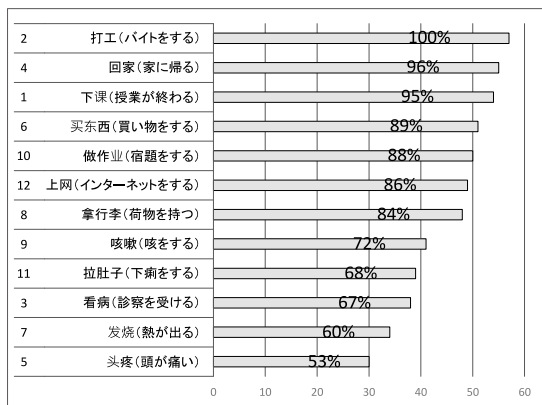


図 8-1 多肢選択テストの結果 (2015 年度)

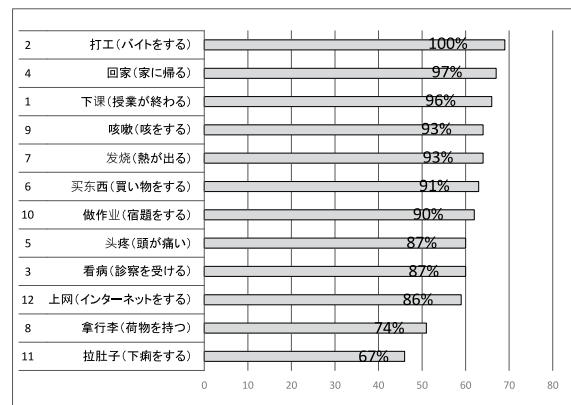


図 8-2 多肢選択テストの結果 (2016 年度)

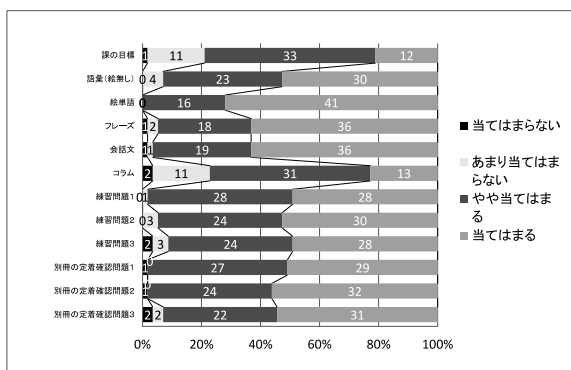


図 9-1 学習項目への満足度調査の結果 (2015 年度)

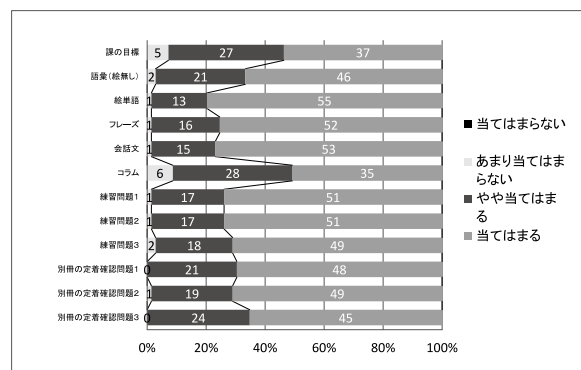


図 9-2 学習項目への満足度調査の結果 (2016 年度)

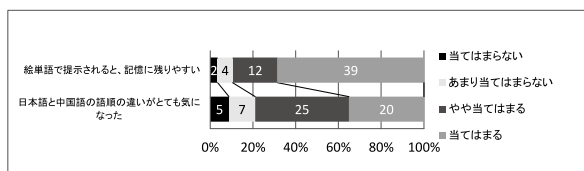


図 10-1 「絵単語」による学習についての調査結果 (2015 年度)

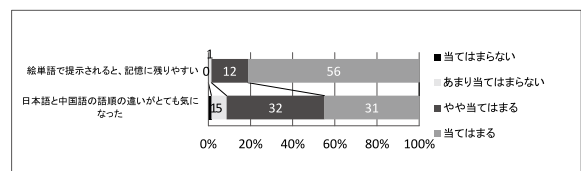


図 10-2 「絵単語」による学習についての調査結果 (2016 年度)

名 (37%) は、12 個の問題に全問正解した。

図 8-2 は、2016 年度多肢選択テストの結果を図示したものである。前年度同様に「打工」は 12 個の問題中で全員正解であった。また、12 個の問題に全問正解したのは、69 名中 44 名 (64%) という、前年度と比べてより全体的に定着度が上がった結果となった。

#### 4-2 学習項目に対する満足度調査の結果

学習項目に対する満足度調査の結果では、課が構成されるすべてのコーナー（「課の目標」「語彙（絵無し）」「絵単語」「フレーズ」「会話文」「コラムー中国事情」「練

習問題 1～3」「別冊定着確認問題 1～3」) について、当該項目が課の構成の中で役に立ったと思うかどうかを聞いた。その結果、2 年間を通じて全体的に肯定的な評価が多かった（図 9-1、図 9-2 参照）

#### 4-3 「絵単語」による学習に関するアンケート調査の結果

中国語の語順に慣れ、フレーズになじみ、かつ、定着度をよくするために「絵単語」を使った実践を考案した。その「絵単語」を用いた学習は学生からどのように受け止められているか、記憶の手がかりになったかどうかを知るために、「絵単語」による学習に関する調査を行った。



図 10-1、図 10-2 で示したとおり、「中国語と日本語の語順の違いがとても気になった」が、「絵単語で提示されると、記憶に残りやすい」という結果となった。

具体的には、「中国語と日本語の語順の違いがとても気になった」と回答した受講生は 2015 年度 79%，2016 年度 91% と多い。それは、「絵単語」を説明するときに、動詞と名詞の位置が日本語とは異なることを授業で示しているからだと思われる（前掲図 4 参照）。しかし一方では、「絵単語」指導では、語順は異なるが、名詞と動詞を一体的に記憶させようという意図がある。その結果、「絵単語で提示されると、記憶に残りやすい」と回答した受講生が 2015 年度 89%，2016 年度 99% に達した。「絵単語」は、日本語と中国語の語順の違いが気にならないまでには解消できるわけではないが、「絵単語」で学ぶことによって、語順記憶の負担を軽減することができたと考えられる。つまり、「絵単語」は「状況の中で動詞と対象をセットで記憶する支援ツール」として効果があることが明らかになった。

## 5. 総合的な考察

2015 年、2016 年の 2 年間にわたる実践、及びアンケート調査から、「絵単語」実践は、学生に肯定的に受け止められ、結果としての語彙の定着度もよかった。

その主要な要因は、「絵単語」の機能にある。「絵単語」は、当該課の内容に関連したことを絵で表して提示している。文法文型色を出さずに、つまり、文法文型に触れないで、情報のまとまりとして提示している。そのことが文法嫌いのハードルを乗り越え、応用力のあるフレーズを身につけることを可能にしたのではないかと考えられる。

この考え方は、コロケーションを意識した教育実践としても意味づけることができる。

田野村（2012）は、広義のコロケーションを「特定の一貫した原理に基づく概念、現象ではなく、“何らかの事情により同時に使われやすい語の組合せ”」と定義している。その「何らかの事情」はなかなか説明しにくいしおそらく学習者にもわかりづらい。コロケーションという

発想は、語彙のまとまりを説明することよりも一体として覚えてしまい、それを使いこなせるほうが実用的で便利だという考え方である。

「絵単語」を使った中国語指導は、「動詞＋名詞」の組み合わせの可能性として数多くある中で、日常生活用語としてもっともよく使う組み合わせを説明抜きの典型として記憶させてしまおうという試みである。「文法積み上げ方式」の場合は、ある動詞についての名詞の使用可能性を実際の使用頻度との関係で説明しながら学んでいくことになるが、「絵単語」の場合は生活言語での典型を憶えていくという戦略をとるので、学ぶことが少なく済み、そして使用可能性も高い。

さらに「絵単語」実践では、授業の最初に時間をかけて「絵単語」に十分に触れ、次の学習内容である会話文、練習問題さらに、他の課を学習する際にも、繰り返して応用する機会があったことも一因である。

ただし以下の点も指摘しておく必要がある。

「絵単語」の多肢選択テストでは、いずれの年度でも、比較の高い正解率ではあったが、2015 年度においては、後期で学習した“头疼”（頭が痛い）、“发烧”（熱が出る）、“拉肚子”（下痢をする）等、病気や症状に関する用語は、前期で習った“打工”（アルバイトする）、“下课”（授業が終わる）等より正解率が低かった。この結果を踏まえて、2016 年度、とりわけ後期においては、読書練習、タスクペア練習の回数を増やしたりカードゲームを導入したりして試行錯誤しながら、授業改善に努め、課題解決に取り組んだ。その結果、前年度と比べてより全体的に定着度が上がった（前掲図 8-1、図 8-2 参照）。

## 6. まとめと課題

中国語初級指導に当たって、ある目標内容を教える際、絵単語での導入→それを含めたフレーズでの代入練習→ストーリーのある会話文、という流れを踏んでいけば、文法での躓きが減り、それをチャンク（情報のかたまり）として身に着ける可能性が示唆された。

課題としては次の三点が挙げられる。

一点目は、「文法積み上げ方式」との比較対照である。

この点については、実践的に後戻りができないので、実験的な比較対照は不可能である。従来の「文法積み上げ方式」の授業では、語彙が使いこなせず、語順の間違いも目立っていた。定期試験不合格者は、受講者全体の約 20%（前期 150 名の受講生のうち 30 名程度）に及んでいた。しかし、本実践を開始して 2 年間、定期試験の不合格者も 6%（前期 150 名の受講生のうち 10 名程度）前後に減り、会話や作文で「絵単語」が自然と使えるようになり、語順の間違いが少なくなったことが授業しっていて、実感できる。

二点目に、「絵単語」を使つての指導の結果において正確さにバラツキが出ている点である。“打工”（アルバイトをする）のように前期で習ったものにもかかわらず全員が正解をしているものから、“上网”（インターネットにアクセスする）“拉肚子”（下痢する）のように、記憶定着の困難なものもある。おそらく、生活に密着しているか、それとも特殊な状況か、また繰り返しが多く行われているか否か、などの理由があるものと推察される。また、2015 年よりも 2016 年の方が全般的にも定着率がよかったが、それは授業改善の工夫が効いているのかもしれない。

三点目に「絵単語」の実践の対象が「動詞＋名詞」を超えて、より広範囲に応用ができるものかを検証することである。今回は初級中国語における躓きの多く見られる「動詞＋名詞」に限定して「絵単語」を扱ったが、それを超えてより広い範囲に応用ができるかどうか検証が待たれる。

また、「絵単語」での提示のみの効果というよりも、その後の繰り返しでフレーズや会話文、練習問題等でも何度も使う機会を設けたことによるものなのか、その判別は難しいところである。今後、実践を重ねながら、より緻密な検証を行っていきたい。

なお、本稿では、実践の構想・実施・アンケート調査を康が行い、教材作成、分析を連名者も加えて行った。

## 参考文献

- 1) 田野村忠温：日本のコロケーション．これからのコロケーション研究（堀正広編），ひつじ書房，東京，193 頁 -266 頁，2012.

## 用例出典

- 1) 康鳳麗・坂本勝信・森脇健夫：第 3 課 予定について話す①，フレーズで学ぶはじめての中国語，三恵社，東京，7 頁 -32 頁，2015.

## 註 1：調べた教科書リスト

- 1) 尹景色・竹島毅：中国語ははじめの一步（最新 2 訂版），白水社，東京，77 頁，2015.
- 2) 喜多山幸子・鄭幸枝：はじめまして!中国語，白水社，東京，76 頁，2015.
- 3) 山田真一：たのしくできる中国語，白水社，東京，78 頁，2012.
- 4) 山田真一：医療系学生のための初級中国語，白帝社，東京，101 頁，2009.
- 5) 劉建：看護・保健・医療スタッフの基礎中国語，メディカ出版，大阪，111 頁，2010.
- 6) 山下輝彦：入門中国語の小窓，同学社，65 頁，2011.
- 7) 卢华岩：話し放題中国語 スリム版，金星堂，東京，56 頁，2008.

資料：アンケート紙

## 中国語Ⅱ(第16回)

記入日:2016年2月 日

教科書を見ながら、該当する番号に ○ 印を付けて下さい。

(1)この内容に興味が持てました。

1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる

| No |                | 評 価 |   |   |   |
|----|----------------|-----|---|---|---|
| 1  | 巻 頭 カラー写真      | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 2  | 巻 頭 発音         | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 3  | 第1課 自己紹介をする    | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 4  | 第2課 所在について話す   | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 5  | 第3課 予定について話す①  | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 6  | 第4課 予定について話す②  | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 7  | 第5課 買物する       | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 8  | 第6課 タクシーに乗る    | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 9  | 第7課 交通手段について話す | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 10 | 第8課 病気の症状を訴える  | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 11 | 第9課 注文をする      | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 12 | 第10課 趣味について話す  | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 13 | 第11課 許可とお願いをする | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 14 | 第12課 病気を見てもらう  | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 15 | 巻 末 便利な単語帳     | 1   | 2 | 3 | 4 |

(2)各課の構成の中でこれが役に立ちました。

1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる

| No |            | 評 価 |   |   |   |
|----|------------|-----|---|---|---|
| 1  | 課の目標       | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 2  | 語彙(絵無し)    | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 3  | 絵単語        | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 4  | フレーズ       | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 5  | 会話文        | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 6  | コラム        | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 7  | 練習問題1      | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 8  | 練習問題2      | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 9  | 練習問題3      | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 10 | 別冊の定着確認問題1 | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 11 | 別冊の定着確認問題2 | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 12 | 別冊の定着確認問題3 | 1   | 2 | 3 | 4 |

(3)次のことに関してそう思いました

1. 当てはまらない 2. あまり当てはまらない 3. やや当てはまる 4. 当てはまる

| No |                         | 評 価 |   |   |   |
|----|-------------------------|-----|---|---|---|
| 1  | 絵単語で提示されると、記憶に残りやすい。    | 1   | 2 | 3 | 4 |
| 2  | 日本語と中国語の語順の違いがとても気になった。 | 1   | 2 | 3 | 4 |

ご協力ありがとうございました。 谢谢!

**The effect and problem of Chinese learning by  
“cards with pictures and words” aiming at phrase acquisition**

Fengli KANG, Takeo MORIWAKI, Masanobu SAKAMOTO